

北西太平洋の軍拡の流れを変えよう!

運動の飛躍をめざして

年末・年始カンパも!!

1988年は、私たちににとって非常に有意義な年であったと思います。

たしかに、日本をとりまく状況は悪化しました。アメリカ海軍の二隻のトマホーク艦の横須賀母港化という厳しい事態を迎えました(8月31日)。これは、アメリカ国外としては世界で初めての母港であり、この結果、推定71発のトマホークの発射台が、横須賀に居を定めることになりました。二隻の船は、今でも横須賀を出たり入ったり、無気味な活動が続けています。また、12月13日現在で、今年日本に寄港した原子力潜水艦の年間寄港回数は、史と最高の43回を記録しました。

これらのことは、北西太平洋で進行している大軍拡の具体的な現われです。日本政府は、ついに世界同時多発有事に対応するための日本の軍事分担をとりきめるための日米共同研究を提案するに至りました。これで1989年秋に、アメリカの提案する太平洋規模の西側三軍実動演習を行なう布石を敷こうとしているのでしょう。

しかし、このような状況の悪化の中でも、私たちは、これをはね返す私たちの運動の手応えを、少しずつつかんでいる気がします。新しい層の人々

との出会いも始まっています。11月に開いた全国会議では、日本の軍拡、北西太平洋の状況全体を変えてゆく視野を私たちの運動が持ち、運動を大きく飛躍させようと呼びあいました。

アジア、太平洋の反核、反戦運動との協力も着実に前進しています。ソ連の変化、朝鮮半島の流動化、これらの好材料を活かして、本当に日本を変える闘いに挑戦したいものです。海の非核化、核艦船寄港禁止などのテーマは、とりあえず、そのための貴重な手掛りだと思っています。

やりたいう事業が山積していますが、まずは1989年の飛躍のために、ぜひ22万円の赤字を解消したいと思っています。皆さんの年末・年始カンパを、心から訴えます。

行動プログラム これらの項目について具体的な行動のアイデアが出力しています

- (1) 核艦船寄港禁止トマホーク艦母港撤回の国民的運動をつくる
- (2) 平和船団(100隻)を広げよう。海に出よう
- (3) 太平洋演習(89年4月)を止めよう
- (4) 反核ホットラインの強化。非核コードのアップデート。
- (5) 出版プログラム

今年も年末・年始カンパをよろしくお願いいたします。



トマホークの配備を許すな! 全国運動

東京都渋谷区渋谷2-5-9 ポル青山502

トマ喰い虫社